

CMSI seminar オーガナイザー  
位高 啓史 (医学系研究科)

去る 2011 年 6 月 23 日 (木)、CMSI-GCOE セミナーが学内・外の参加者を多数集めて開催されました。本セミナーは 2008 年 7 月より実施されているグローバル COE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション(CMSI)」(拠点リーダー：片岡一則教授)の一環として企画、開催されています。

23、24 日の両日に渡って、鶴見大学歯学部 RI 研究センターの川本忠文先生をお招きして、ライカマイクロシステムズ(株)の協賛のもと、CMSI-医工薬融合 GCOE セミナー・ワークショップが行われました。

川本先生は、独自のフィルムを用いた組織切片作成法を開発された高名な先生です。骨などの硬組織を固定や脱灰もせず、 $2\mu\text{m}$ の厚さで切るという、にわかには信じられないような技術で、当日配布いただいた資料も「夢の切片」というタイトルでした。23 日のご講演では、この夢を現実のものとしていくご研究の軌跡を、苦労話やユーモアを交えながらお話しいただきました。本当に優れた技術は、むしろシンプルで、誰にでも容易に習得できるものである、との先生の信念がひしひしと伝わってくるお話で、評判を聞いたライカのドイツ本国の CEO (もちろん研究者ではありません) が川本先生のラボを訪問し、川本先生の手ほどきを受けたところ、すぐ切片が切れてしまった、とのエピソードは大変印象的でした。

続いて、ワークショップが行われました。事前予約いただいた希望者からの実際の試料を用いて、その場で組織切片作成を実演していただきましたが、まさに百聞は一見にしかずで、その出来映え、スピードとも、驚きの連続でした。川本先生の直接の指導が受けられる、またとない機会ということで、会場は一時足の踏み場もないほどの盛況ぶりで、24 日も午後遅くまで参加者との質疑応答が続きました。

2 日間に渡って、丁寧にご指導いただいた川本先生、およびスタッフの方々には、厚くお礼申し上げます。

